

紫外線ランプを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意

警告



●点灯中のランプは絶対に直接または間接に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。



●紫外線（殺菌線）を皮膚に直接または間接に当てないでください。皮膚の炎症や日焼けをおこす原因となります。



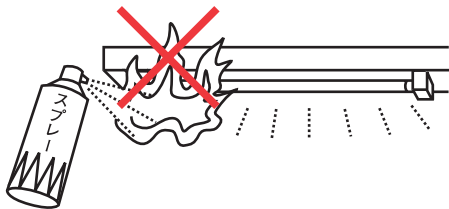
●取り付け、取り外しや清掃のときは必ず電源を切ってください。感電、目の痛み、視力障害や皮膚の炎症の原因となります。



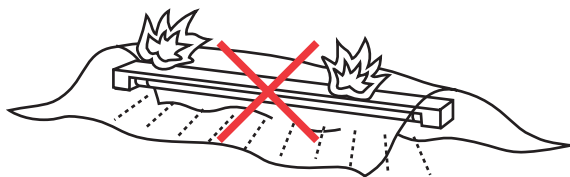
●オゾン発生ランプのオゾンは、人体に害がありますので、換気装置を取り付けてください。呼吸器官の炎症を起こす原因となります。

注意

- 落としたり、ものをぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損した場合、ガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります
- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。



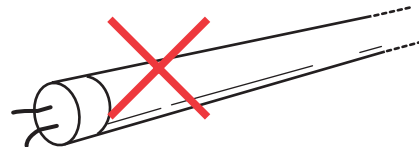
- ランプに適合した安定器、ソケット・コネクタを必ず使用してください。安定器やソケット・コネクタの過熱、発煙の原因となることがあります。また、ランプ不点灯、短寿命、チラツキなどの原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電や破損の原因となることがあります。
- ランプ取付時は、ソケット・コネクタおよびランプホルダーに確実に取り付けてください。ランプの落下や接触不良による短寿命の原因となることがあります。
- 紙や布などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となることがあります。



- 酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下破損によるケガやランプ短寿命の原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。



- 粉塵の多いところでは使用しないでください。接触不良の原因となることがあります。
- 退色を避けたい場合には使用しないでください。被照射物が紫外線により退色、劣化の原因となることがあります。
- ランプ口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。



- 植物のそばでは使用しないでください。植物育成障害の原因となることがあります。
- ランプは素手でさわらないでください。紫外線出力が低下するばかりでなく、ガラス管の失透、破損の原因となることがあります。

ご使用上の注意

注意

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">●使用温度範囲はランプに適合した温度範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。●電源電圧が低い場合(定格入力電圧の94%より低い)はランプが点灯しなかったり、短寿命の原因となります。●点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。(フィラメントトランスとの組み合わせで使用してください。)●強い風が当たる場所は避けてください。風のあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。 | <ul style="list-style-type: none">●ランプの取り付け、取り外しや器具清掃のときは素手でさわらないでください。万一汚れた場合はアルコールを湿した布でよく拭きとってください。●ランプは、常にきれいに保ってください。紫外線出力が低下します。●初めて点灯したとき、電極付近が黒くなることがありますが、しばらく点灯しておくで消えます。●寿命末期のランプを長時間通電するとフィラメント付近が高温となるため。周囲の造営材へ影響を及ぼす原因となります。不点灯またはランプ端部が著しく黒化した寿命末期のランプは早めに交換してください。また、2灯用安定器をご使用の場合は2本同時に交換してください。 |
|--|---|